

令和6年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和6年11月19日）

□進捗評価シート(様式1)

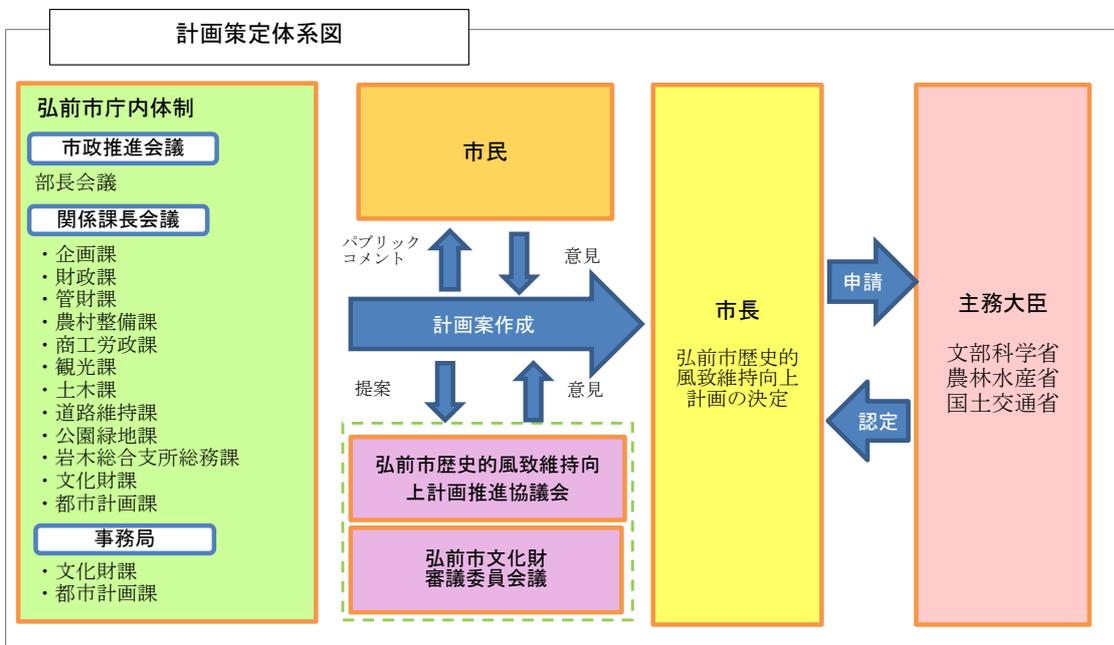
①組織体制(様式1-1)	
1 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 趣のある風景情報発信事業	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘前城本丸石垣整備事業	3
2 鷹揚公園整備事業	4
3 景観重要建造物等保存・改修費助成事業	5
4 趣のある建物情報発信事業	6
5 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業	7
6 主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業	8
7 追手門広場改修事業	9
8 松並木保存管理事業	10
9 津軽塗後継者育成研修事業	11
10 津軽塗技術保存伝承事業	12
11 弘前市民俗文化財用具修理事業	13
12 レッツウオークお山参詣開催	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存、文化財の修理・整備	15
2 保存・活用を行うための施設の設置、 文化財の周辺環境の保全、文化財の防災	16
3 保存・活用の普及と啓発	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 地域課題に挑むヒーロー	18
2 「レッツウオークお山参詣」40回の節目	
3 禅林街巡り 歴史に理解	
4 高照神社 除雪に100人	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 景観ブースの開催	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	必要に応じて国や青森県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画掲載事業の進捗状況等についての報告や意見の聴取をすることで、計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の変更を行なうこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画の推進について客観的な評価や意見を聴取するため、有識者や関係団体、文化財等所有者、市民等により組織した弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間において情報を共有しながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。		

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

- (1) 開催日 対面開催 令和7年3月21日(金)
- (2) 案件 令和6年度 進行管理・評価シートについて
弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
趣のある風景情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 自然・歴史・文化に彩られた景観を守り、育むため、市民の意識醸成を行い、市民と一体となった景観保全を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前市の景観をPRするために、平成26年度に市民から募集したビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市内各所の施設等に設置し、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約7,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

—

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【弘前市役所での設置状況】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和9年度

支援事業名 国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 重要文化財である弘前城天守が載る本丸東面と南面の石垣に崩落の危険性があるため、平成19年度から調査・測量を開始し、本丸石垣修理委員会等の指導を受けながら、計画的に石垣の保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は石垣東面(南側)積直し工事の最終年であり、残りの築石549石の積直しを行い、解体した2,185石の積直しが終了した。工事では、天守を支える深礎杭設置部の深礎山留工を実施し、近世盛土及び縄文時代晩期の遺物包含層等を掘削する必要があることから、発掘調査を行った。なお、石垣積直しの方針や発掘調査の内容等については、昨年度に引き続き、石垣修理現場アドバイザーによる現地指導や弘前城跡本丸石垣修理委員会等を開催し検討している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

各専門分野の有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【委員会等の開催日時及び会議内容】

○弘前城跡本丸石垣修理委員会

第1回 令和 6年 8月28日 破損石材調書について、石垣積直し工事進捗状況について、天守台石垣天端の高さ調整について、本丸排水工事について

第2回 令和 7年 3月24日 石垣修理進捗状況について、修理に伴う発掘調査成果について、天守台石垣天端背面の仕上げ方法について、保管石の取り上げについて

○石垣修理現地指導

今年度:2回実施(6月24日、11月14日)

【石垣東面(南側)積直し工事概要】

- ・工事期間:令和4年12月21日～令和7年3月15日
- ・工事内容:石垣修復準備工、石材ストックヤード整備工、新補石材調達工、石垣修復工、湧水箇所排水対策工、深礎山留工、仮設工、雑工

【積直し工事に伴う発掘調査に関する実施概要】

- ・調査期間:令和6年7月～令和7年3月
- ・調査内容:天守を支える深礎杭設置部の深礎山留工で、近世盛土及び縄文時代晩期の遺物包含層等を掘削する必要があることから、発掘調査を行った。その結果、弘前市街地では初事例となる縄文時代晩期の盛土遺構を確認したほか、当該期の縄文土器、石器等が出土している。

【石垣修復工】



【発掘調査状況】



【石垣積直し終了状況】



【遺物出土状況】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
鷹揚公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 防災・安全社会資本整備交付金(都市公園・緑地等事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園となっているが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、園内にある亀甲橋の木部更新工事と杉の大橋の木部更新工事のための実施設計業務を実施した。

- ・亀甲橋木部更新工事:N=1橋
- ・杉の大橋木部更新工事実施設計業務 N=1橋

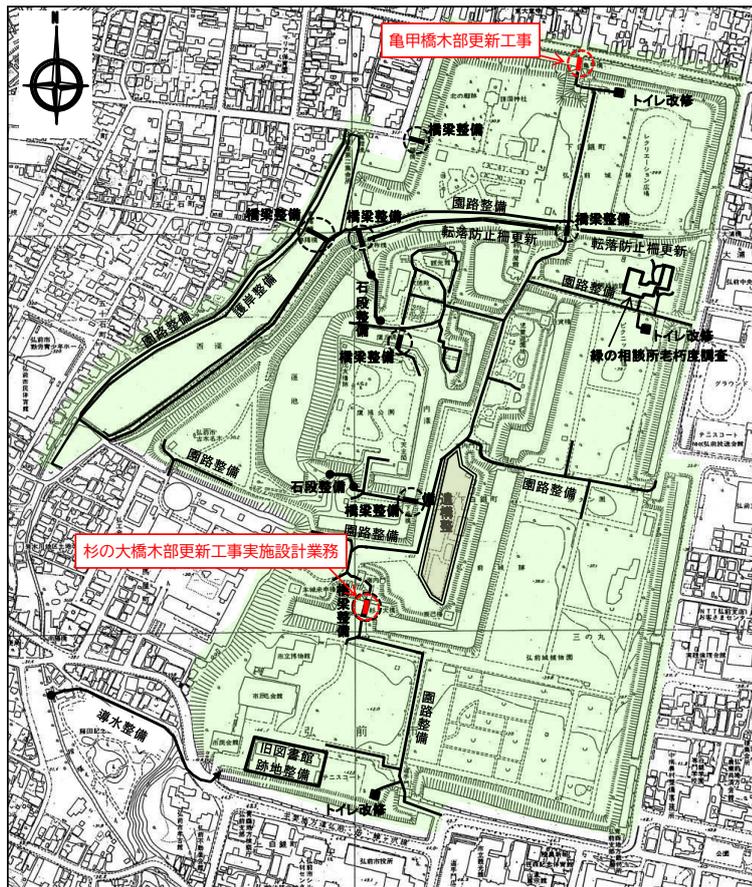
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】

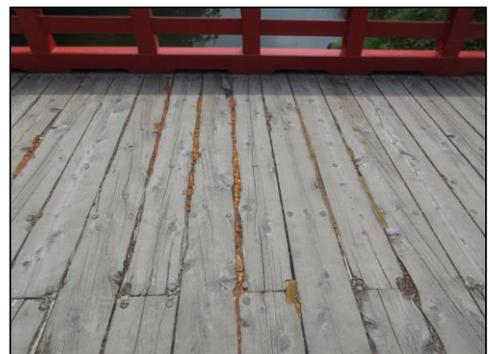


R5年度迄実施 :
 R6年度実施 :

【亀甲橋更新完了】



【杉の大橋現況】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物等保存・改修費助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは良好な景観を形成しているものの老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物及び歴史まちづくり法に基づく歴史的風致形成建造物に指定し、その保存及び改修費に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

川崎染工場(歴史的風致形成建造物・令和3年5月20日指定・第6号)について、経年劣化が著しい屋根の塗替えを行い費用の一部を助成。高砂(景観重要建造物・令和5年7月27日指定・第17号)について、経年劣化が著しい屋根の葺き替えと小屋裏野地板等修繕、雪止め交換取付を行い費用の一部を助成。酒舗カクイ成豊(景観重要建造物・令和5年7月27日指定・第19号)について、経年劣化が著しい屋根の塗替えを行い費用の一部を助成。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物と歴史的風致形成建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修繕を進める。

状況を示す写真や資料等

位置



【川崎染工場(歴史的風致形成建造物)】

屋根塗替え

改修前



改修後

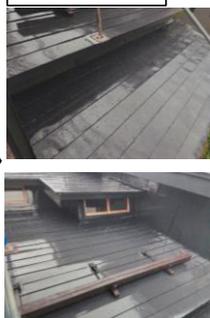


【酒舗カクイ成豊(景観重要建造物)】屋根塗替え

改修前



改修後



【高砂(景観重要建造物)】

屋根葺き替え、小屋裏修繕、雪止め交換取付

改修前



改修後



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
趣のある建物情報発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 文化財の指定を受けていない古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

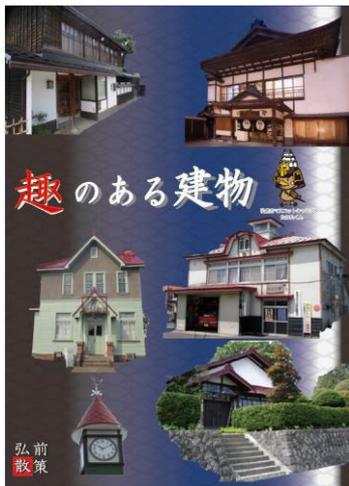
市が指定した「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物や観光施設等で「趣のある建物ガイドマップ」を配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【弘前さくらまつりに出展した景観ブースでの設置状況】
(令和6年4月19日、20日出展)



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)		
計画に記載している内容	仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承している。 地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度実績 ・伝統的建造物群保存地区修理修景事業補助(4件) 総事業費 1,152,600円 補助金交付額 710,000円 (庭園修理1件、生垣修景1件、主屋修理2件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、所有者の経費負担の支援の拡充について検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
・修理事業【庭園修理】			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">施工前</div>  </div>		➔	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">施工後</div>  </div>
・修理事業【主屋修理】			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">施工前</div>  </div>		➔	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">施工後</div>  </div>

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和10年度

支援事業名 防災安全交付金

計画に記載している内容 主要地方道弘前岳繻ヶ沢線の未無電柱化区間沿道には、重要文化財である旧第五十九銀行本店本館、登録有形文化財及び景観重要建造物に指定されている三上ビルがあり、さらにねふた運行ルートでもあることから、良好な景観形成を図るため電線類を地中化する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前市民中央広場に隣接する区間については、令和3年度に電線地中化と歩道へのロードヒーティング設置が完了し、1年を通して快適な歩行空間の確保並びに、良好な景観が創出されている。今後は観光地として桜の名所である弘前公園と土手町商店街を結び、ねふた運行ルートとなっている一番町工区の電線地中化について、沿線住民の協力を得ながら参画事業者や道路占用事業者と調整を図り、工事着手に向けた取り組みを進めていく。

進捗状況 ※計画年次との対応

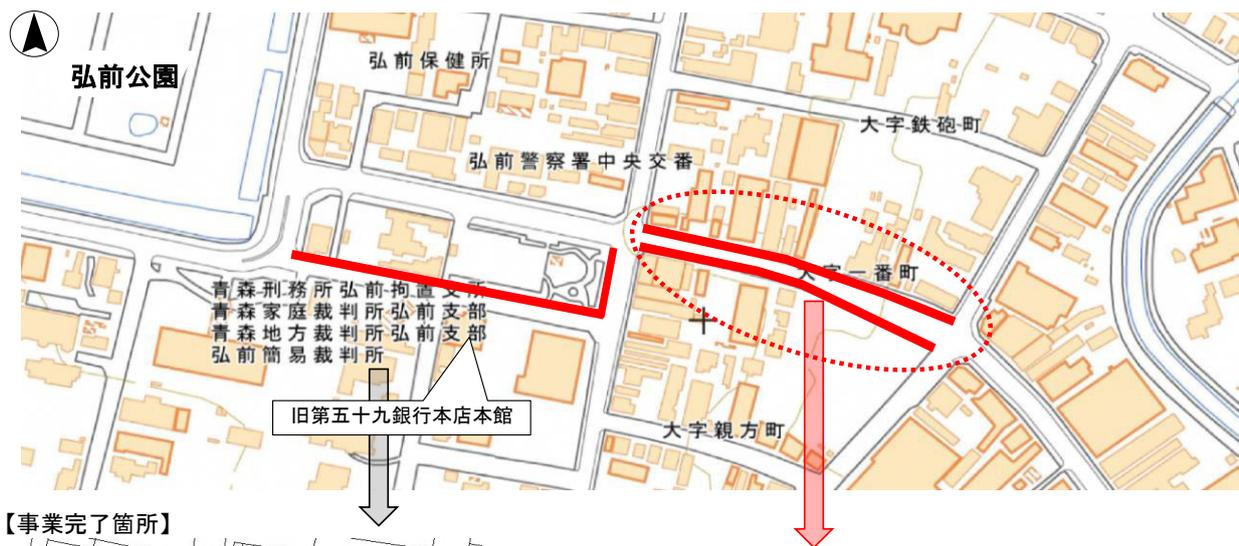
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

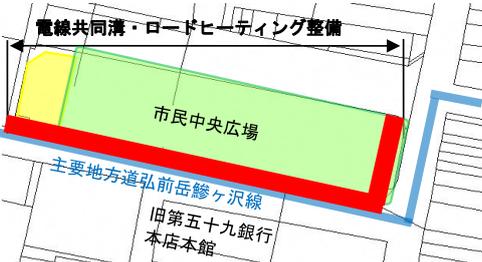
一番町工区の整備については、令和5年度までに取りまとめをした課題整理、交通量調査、電線共同溝の設計等に基づき、令和6年度、関係事業者との協議・調整と地元住民への事業説明を行い、事業着手への合意形成が図られた。来年度は、南側となる区間の道路占用施設(水道、ガス)の移設工事及び電線共同溝本体工事の実施を予定している。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】 ■■■■■ …主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業(青森県)



【事業完了箇所】



- …弘前岳繻ヶ沢線整備事業(青森県:整備済み)
- …市民中央広場整備事業(弘前市:整備済み)
- …市民中央広場整備事業(弘前市:拡張予定)

【事業箇所の状況】

電線が道路を横断



歩道に柱が乱立



【地元住民への説明】R6年10月



【事業完了箇所】ロードヒーティング整備完了後



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、県の有形文化財(建造物)旧東奥義塾外人教師館等が配置され当市の観光・文化拠点となっている追手門広場の舗装の補修、障害者誘導ブロックの改修、ミニチュア建造物上屋及び案内板の整備等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前公園周辺の歴史的風致の維持・向上を図るため、ミニチュア建造物の修理を弘前工業高等学校のご協力のもと行った。令和5～7年度の3か年計画でミニチュア建造物(かくは宮川デパート)の修理を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

来年度も引き続き経年劣化したミニチュア建造物の修理事業を実施する。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【ミニチュア建造物修理作業状況①】



【ミニチュア建造物修理作業状況②】



【ミニチュア建造物修理作業状況③】



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
	項目	現在の状況
	松並木保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 県の記念物に指定されている百沢街道および高岡街道の松並木は岩木山神社及び高照神社の神社建築や民間信仰行事のお山参詣と一体となって、岩木お山参詣地区の歴史的風致を形成している。この松並木の樹勢を維持させるため、松周囲及び周辺緑地の草刈りと清掃、サワラ生垣の刈込、肥料の打ち込み等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り(年2回)

観光シーズンが到来する新緑の時期と、お山参詣が開催される旧暦七月晦日前までにそれぞれ実施。

- ・1回目：5月29日～6月7日実施
- ・2回目：8月20日～24日実施

②サワラ生垣の刈込(年1回)

時期は問わないが、初夏から秋にかけて葉が生い茂るため、秋の行楽シーズン(岳きみ)到来までに実施。

- ・8月26日～29日実施

③施肥

- ・8月9日実施

・施肥実施対象木：51本中17本(百沢街道)、11本中3本(高岡街道) 計20本/62本

・使用する化成肥料：18g/本(N:P:K=17:10:10)

マツ1本に対し10～16本使用(幹回りに応じて調整) 総打ち込み本数：258本

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

お山参詣に見る歴史的風致の維持及び向上のため、松並木のマツ及び周辺環境を計画的に維持管理することで、景観形成及び文化財(県記念物)である松の生育状況を良好に保つことが必要である。

状況を示す写真や資料等

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り(百沢街道)

【施工前(1回目)】

令和6年5月29日



【施工後(1回目)】

令和6年6月7日



【施工前(2回目)】

令和6年8月20日



【施工後(2回目)】

令和6年8月24日



②サワラ生垣刈込

【施工前】

令和6年8月26日



【施工後】

令和6年8月29日



③施肥

【施工の様子】令和6年8月9日



【百沢街道】



【高岡街道】

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
津軽塗後継者育成研修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗業界の高齢化に伴う後継者不足を解消するため、津軽塗を生業として目指す若者を対象に津軽塗の基礎技術を体得するための研修を行う団体に対して経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和6年度実施状況】
 研修生:4名
 研修期間:7期生2名⇒令和3年10月～令和7年3月
 8期生1名⇒令和4年9月～令和8年3月
 9期生1名⇒令和6年9月～令和10年3月
 研修項目:津軽塗に関する講義、木地作り、下地作り、道具の使い方、津軽塗4技法習得のための技術研修及び成果発表展示。
 研修時間:月・水・金の午前9時から12時まで
 ※これまで16名が研修を修了し、うち10名が津軽塗職人として活動中。

令和6年度成果発表会を令和7年2月27日から3月2日に開催。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 研修終了後の雇用先の確保が困難となっているため、市内の津軽塗関連事業者と連携し、さらなる技術研鑽や津軽塗業界での就業ができるようサポートを行っていく。

状況を示す写真や資料等

【研修風景】



【成果発表会】



評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術保存会に対し、会員の技術の研鑽及び後継者育成を行う活動経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。
 <津軽塗技術保存会 令和6年度活動状況>
 (1)後継者育成:塗研修生2名、木地研修生1名 フォローアップ研修生 塗2名、木地2名
 (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。
 令和7年3月6日に会員による講習会を開催。
 (3)特別発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示。
 令和6年4月19日～21日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)
 令和6年11月1日～3日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

後継者育成における、講師の確保などの体制構築が急務である。

状況を示す写真や資料等

【後継者育成研修の様子】



【特別発表会の様子】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
弘前市民俗文化財用具修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和58年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 弘前市の指定無形民俗文化財を伝承する各団体は、その母体が地区の集落単位であり、有志による運営が多いことから財政基盤が弱く、伝承活動に必要な用具の確保が困難な状況になっているため、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら伝承活動に必要な用具の修理や更新に係る経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまでの本用具修理事業の継続的な実施により、令和6年度は用具修理の要望は無かった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要であるとともに、伝承活動の確実な実施のためには、今後も用具修理への支援を継続していく必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

令和6年度は事業実施実績なし

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
レッツウォークお山参詣開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財であるお山参詣を市民や観光客が体験できるよう、一般の人が参加できる「レッツウォークお山参詣」を開催する団体へ助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

レッツウォークお山参詣実行委員会(事務局:岩木山観光協会)に対して事業費の一部補助を行うことで5年ぶりのイベント開催を支援。国重要無形民俗文化財である「岩木山の登拝行事」を一員として体感できるイベントの開催を通じて、市民・観光客の歴史的風致に対する理解促進等を図った。
開催年月日:令和6年9月2日 参加者数:171名

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的風致の維持・向上に資するものであることから、来年度も継続実施したい。

状況を示す写真や資料等



イベント開催状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
	現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理・整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 弘前に残る歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存
 - ①民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(1団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。
- 文化財の修理・整備
 - ①弘前城跡整備
 - 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲)
 - ・弘前城本丸石垣整備事業(H19~R6年度)
 - 令和6年度は、本丸石垣東面(南側)積直し工事を進め、積直しが完了した。
 - ・天守基礎耐震補強工事(R6~8年度)
 - 深礎山留工事を実施した。
 - ②岩木山神社社務所東面茅屋根修理事業
 - 事業期間: R6年度
 - 岩木山神社社務所東面の腐朽した茅屋根を修理。
 - ③岩木山神社拝殿ほか4棟保存修理事業
 - 事業期間: R6~R15年度
 - 岩木山神社拝殿・楼門・奥門・瑞垣・中門の保存修理。R6年度は素屋根等の仮設工事のための調査業務を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。

状況を示す写真や資料等

①弘前城跡整備

本丸石垣東面(南側)積直し工事(石垣修復工)
石垣の積直しが完了



天守基礎耐震補強工事(深礎山留工)



②岩木山神社社務所東面茅屋根修理事業



社務所茅屋根を修理



③岩木山神社拝殿(現状)



③岩木山神社楼門(現状)



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 史跡である大森勝山遺跡のガイダンス施設の整備などの進展に伴い、先史時代について深く学ぶ施設等の整備を目指す。また、仲町伝統的建造物群保存地区において防災計画の見直しを進める。さらに、重要文化財(建造物)等の防災設備及び防犯設備の整備を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の防災・防犯

- ①最勝院五重塔防災設備設置事業
事業期間: R6年度(R7年度に繰越予定)
老朽化した木製保護策の更新・易操作性消防設備を設置する。R6年度は実施設計を実施。
- ②熊野宮本殿防災設備設置事業
事業期間: 令和6年度
火災通報装置、及び感知器の更新。
- ④文化財防火デー火災防ぎょ訓練事業
文化財防火デー(1月26日)に合わせて、令和7年1月26日に岩木山神社にて火災防ぎょ訓練を実施。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

ハード整備とともに、ソフト面での体制づくりを進める必要がある。個別文化財の防災計画について、所有者との連携で作成を目指す。

状況を示す写真や資料等

①最勝院五重塔防犯設備設置事業

木製保護柵(現状)



放水銃(現状)



②熊野宮本殿防災設備設置事業
火災通報装置更新(完成)



感知器更新(完成)



③文化財防火デー火災防ぎょ訓練【岩木山神社】



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和6年度

現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○保存・活用の普及と啓発

①「ちびっこ縄文講座」開催
市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。(7月16日、9月25日、10月11日に実施。参加人数:延べ76人)

②「歴史体感ツアー」開催(7月7日に実施。参加人数:延べ36人)

③「小学校史跡見学会」開催
市内の小学生を対象に、大森勝山遺跡、堀越城跡、弘前城跡を見学。(参加校数:19校 参加人数:延べ890人)

④「大森勝山じょうもん祭り」開催(7月28日開催。参加人数:126人)

⑤「堀越城秋まつり」開催
史跡を会場に、見学ツアーや講演会などを開催。(10月27日開催。参加人数140人)

⑥「まいぶん講座」開催
学識経験者や市の担当者などが埋蔵文化財について市民向けに講座を開講。(6月30日、10月6日、2月2日開催。参加人数:87人)

⑦「まちなかクラフト村」開催
市内の工芸品の展示・販売を実施。(4月5日～3月16日 計11回実施。参加人数:延べ9,496人※2月末日時点)

⑧その他学習支援及び一般説明等
小中学校の学習支援として文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。(実施回数16回 参加人数:294人)

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

①ちびっこ縄文講座



令和6年7月16日～10月11日 参加人数:延べ76人

②歴史体感ツアー



令和6年7月7日 参加人数:延べ36人

③小学校史跡見学会



参加校数:19校 参加人数:延べ890人

④大森勝山じょうもん祭り



令和5年7月28日 参加人数:126人

⑤堀越城秋まつり



令和6年10月27日 参加人数:140人

⑥まいぶん講座



令和6年6月30日、10月6日、2月2日 参加人数:延べ87人

⑦まちなかクラフト村



令和6年4月5日～令和7年3月16日 参加人数:延べ9,496人

⑧その他学習支援等



令和6年12月21日ほか 参加人数:延べ294人

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
地域課題に挑むヒーロー	R6.5.25	東奥日報
「レッツウォークお山参詣」40回の節目	R6.7.19	陸奥新報
禅林街巡り 歴史に理解	R6.7.26	東奥日報
高照神社 除雪に100人	R7.1.13	陸奥新報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

7月に曹洞宗33寺院が集まる禅林街を巡る民間旅行会社の1回目のツアーが開催され地域の歴史文化への探索ニーズの多さをうかがわせた。また重要文化財の高照神社では大雪に見舞われた今冬、運営検討委員会が氏子の枠を超えた除雪活動を実施するなど地域を超えた協力体制の構築が進展している。歴史的風致であるお山参詣では「レッツウォークお山参詣」が5年ぶりに復活し伝統行事を気軽に体験してもらう貴重なイベントとして再始動した他、弘前大学では学生によるローカルヒーロー「ヒロダイザー」が地域の文化伝統を見直すきっかけとして地域を盛り上げる活躍を見せている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

保存修理を進め、観光や商業機会の創出に繋げることができる一方で、活用が進まず、維持管理に困る事案も見受けられるため、今後とも、工夫しながら計画を着実に推進して実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やし、歴史まちづくりの普及に取り組む。

状況を示す写真や資料等

(1) 令和6年5月25日 東奥日報 掲



(2) 令和6年7月19日 陸奥新報 掲



(4) 令和7年1月13日 陸奥新報 掲



(3) 令和6年7月26日 東奥日報 掲



(1) (3)は東奥日报社提供
この画像は、当該ページに限り東奥日报社が利用を許諾したものです。

(2) (4)は陸奥新報社提供
この画像は、当該ページに限り陸奥新報社が利用を許諾したものです。

評価軸⑥-1 その他(効果等)	
評価対象年度	
令和6年度	
項目	
景観ブースの開催	
計画に記載している内容	地域の歴史資源の認識のさらなる向上のため、文化財に指定されていないものの、当市の風情を醸し出している建物の情報発信に取り組む。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
令和6年4月19日(金)、20日(土)に弘前市の前川建築や歴史まちづくり等、景観事業全般についての周知を行う景観ブースを「弘前さくらまつり」会場にて開催したことにより、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や景観資源の気づきの向上が図られた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	広聴広報課のシティプロモーションブース(現存12天守パネル展及び、各天守のパンフレット・記念品配布等)や文化振興課の能舞台、AOMORI GOKANブースと協同出展したことにより、幅広い世代へ弘前市の近代建築及び景観をPRすることができた。また、さくらまつり開催期間ということもあり、県外観光客が圧倒的に多く、なかなか県外の方に配る機会がなかった弘前市の歴まちカードや各種パンフレットを配布することができた。今後も、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。
状況を示す写真や資料等	
令和6年度 景観ブース 会 場:弘前さくらまつり(弘前公園二の丸三角広場付近) 日 時:令和6年4月19日、20日 10時~17時 【各種パンフレット等の配付実績】 前川建築カード 木村産業研究所カード 約334枚、市庁舎カード 約357枚 歴まちカード 約 170枚 趣のある建物 約1,228冊 趣のある風景 約1,176冊 【景観ブースの様子】	
	

評価対象年度

令和6年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 対面開催(令和7年3月21日)

■議事の内容

- ・令和6年度 進行管理・評価シートについて
- ・弘前市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について

■進行管理・評価シートへのコメント

- ・9ページの書き方について、ミニチュア建造物修理事業は、今年度終了予定だったが終わらなかった。例えば、計画の最終年度である令和10年度までには終了予定といった、事業は計画通り進捗していると思われるような表記を、簡単に加えたらいかかが。
- 記載方法について検討する。
- 協議会后、担当課より計画期間が誤っていたと回答があったため記載内容を修正する。

■軽微な変更へのコメント

- ・86ページ開雲堂の下段のところに津軽藩と記載されている。他の資料で弘前藩になっているかと思うので、文言を統一して「弘前藩」とすべき。
- 修正する。
- ・119ページの地図の方に「考古館(匠館)」と、117ページ本文の方は「考古館」とするという話になったが、考古館という言葉は一般的にも使われている言葉で、考古館であれば当然考古資料があるかと思われる。119ページの地図上と同じように、本文も「考古館(匠館)」と統一した方が一般市民の方にもわかりやすい。
- 修正する。

【協議会の様子】



(今後の対応方針)

今冬の降雪で計画の進捗に遅れが生じたという事業はないことが確認できた。計画の下半期も、引き続き国の補助事業を活用しながら景観形成・歴史的なまちづくりを進め、弘前ならではの風致の維持・向上を図る。